

巻頭言 「食の経済」のために 原田信男	1
序章 現代の食の経済——その基底と展開過程 中嶋康博	11
食の経済をとらえる視角 充足のために	
欲望のゆくえ 豊かな関係を求めて 総合討論	

第1部 充足のために

第1章 食料と国家 服部正治	20
経済学の成立と食料 食料自給率の低下と経済学	
白いパンとブラウンパン 世界大戦と食料輸入の激減	
世界食料政策と国内食料政策	
第2章 豊かさへの模索	
——近代日本の食生活の転換 中西 聡	41
はじめに 宮林家の食生活 盛田家の食生活	

加藤家の食生活 おわりに	
第3章 意図せざる食の経済	
——人道援助と難民キャンプにおける食の充足 栗本英世	64
はじめに カクマ難民キャンプ 食料配給と食の充足	
故郷と難民キャンプ 食べることと生きること	

第II部 欲望のゆくえ

第1章 国境を越える食	88
——ガルガンチュアの楽園のゆくえ 下山 晃	
はじめに ガルガンチュアの楽園 楽園のフードシステム	
楽園のなかの戸惑い おわりに	
第2章 ワインビジネスの成立と展開 森枝卓士	111
はじめに ワインとワインビジネスの起源	
ボトルとコルク パリスの審判とオーパス・ワン	

第3章

グローバル化する食の経済の光と陰

南 直人

131

——食品偽装問題からみえてくるもの

一九世紀ヨーロッパにおける食品偽装問題

食品偽装問題の展開

第Ⅲ部 豊かな関係を求めて

第1章

コーヒーのフェアトレードの現実

辻村英之

150

——「生産者支援できる」食品の可能性

フェアトレードの発展と価格形成

食品の多様な品質属性と新しい品質

フェアトレードの今後の発展のための課題①

キリマンジャロにおける農林畜複合経営とコーヒー危機

フェアトレードの今後の発展のための課題②

第2章

「地産地消」のプロデュース 白田典子

172

はじめに 専業主婦が鮎屋から始めて

良品工場の仕事 本場に良いもの(良品)とは何だろう

「いいものプロジェクト」の仕組み

会費制モニターと手書きのアンケート

「いいものプロジェクト」がもたらしたもの

宅配ビジネスへの戦略 地域商品の課題と可能性

総括

食の経済と食の文化の経済 中嶋康博

195

はじめに 市場を創る 市場の力学

新しい食の経済 食の文化の経済学

総合討論

215

- 市場経済は「身の丈」を超えたもの？ 不足の演出
胃、舌、頭、そしてハート グローバル化と食文化の危機
ブランドビジネスの成立 嗜好品化と世界商品化 ワインと品質保証
食ビジネスのアメリカ型モデルとフランス型モデル 二つの偽装
模造品がうながす技術革新と食の経済の拡大
なぜ日本でフェアトレードが広がらないのか フェアトレードの理念と実体
理念を右手に消費者メリットを左手に 地域商品としての食の可能性
コミュニケーションの必要性

「食の経済」を考える文献…………… 247

あとがき 中嶋康博…………… 253

執筆者紹介…………… 261

装幀 市川美野里